

令和3年度東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会
作業技術研究会（冬期） 開催要領

東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会長
農研機構東北農業研究センター
水田輪作研究領域長 迫田登稔

1. 趣 旨

東北農業試験研究推進会議運営要領に基づき、東北地域農業に係わる作業技術分野の試験研究を適切かつ円滑に推進するため、農研機構東北農業研究センター及び公設試験研究機関等の関係者が参集し、現場段階での技術的課題等について議論するとともに、当該分野が重点的に取り組むべき研究開発とその推進方向について検討する。

本年度策定された「みどりの食料システム戦略」の実現に向けては、これまでに開発してきた作業技術分野の技術や、昨今のスマート農業技術の活用が期待されることから、農林水産省や民間企業、農業機械分野、土壌肥料分野および各県での取り組みの現状について報告を受け、現時点での課題や解決方法等について議論する。

2. 開催日時 令和4年1月25日(火) 13:20～1月26日(水) 12:00

3. 開催場所 オンライン開催

4. 議題・内容

1月25日 13:20～17:15

1) 開会・挨拶

2) 重点検討事項「『みどりの食料システム戦略』の実現を視野に入れたスマート農業および作業技術分野の取り組みと現状」に関する話題提供

(1) 『みどりの食料システム戦略』の概要とスマート農業の果たす役割(仮)

農林水産省農林水産技術会議事務局 小島 陽一郎 氏

(2) 『みどりの食料システム戦略』に対応する資材散布技術開発の方向性(仮)

(株)やまびこ 湯木 正一 氏

(3) 『みどりの食料システム戦略』の実現を視野に入れたスマート農業研究(仮)

農研機構農業機械研究部門 天羽 弘一 氏

(4) 施肥量の最適化を実現する可変施肥技術の開発の現状と課題(仮)

農研機構中日本研究センター 関矢 博幸 氏

(5) 各県及び東北農研からの話題提供

(6) 総合討論

1月26日 9:10～12:00

3) 研究成果情報の検討・確認

4) 「最新農業技術・品種2023」候補の選定

5) 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討

6) 令和4年度作業技術研究会(夏期)についての意見交換

7) 閉会

5. 参集範囲

国立研究開発法人試験研究機関および公設試験研究機関の関係者、農林水産省、大学、県行政部局・県普及部局の関係者、その他推進部会長が必要と認める者

6. 連絡先

事務局：農研機構東北農業研究センター 農業放射線研究センター 金井 源太

所在地 福島県福島市荒井字原宿南50

TEL:024-593-5151 (代表) FAX:024-593-2155 E-mail:kanaigen@affrc.go.jp

7. その他

新型コロナウイルス感染防止対策のため、以下の対応をお願いします。

- ・リモートの拠点となる会議室等に複数人数が参集する場合、各機関の担当者は会場が三密の状況にならないよう留意するとともに、参加者には検温、手指消毒の励行および発言の有無に関わらずマスクの着用を指示ください。
- ・運営事務局は出席者名簿を作成し、万一、会議参加者に新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、感染経路や濃厚接触者の調査のため、保健所等の公的機関に出席者名簿を提示する可能性があることをご承知おきください。